（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	会社の基本理念に「平等とは生まれながらに与えられた各個性が十分に認められること」と定め、差別を排除して いる。 年2回の全体会議にて周知している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメント防止宣言を行っている。 相談窓口を設置している。 【予定】さらに周知徹底を行なう。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	ノー残業デーを設定し全社員と共有、実施日は所属上長が残業の有無を都度声掛け確認している。 【予定】36協定の上限見直しを進める。								8.5 8.8									
4		□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在、外国人労働者は不在であるが、会社理念「自由･平等･友愛に基づく経営を目指す」に基づき差別や人権侵害を排除している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	会社側･衛生管理者･社員側で構成する安全衛生委員会を設置。安全衛生一般の監督･実施、各種月間運動の調査･啓蒙･実施、社内生活環境改善への取組みを実施。 安全衛生マニュアルを定め、周知している。 【予定】さらに周知徹底を行なう。			3					8									
6		□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	シニア産業カウンセラーによるメンタルヘルス面談、ストレスチェックによりメンタルヘルス状態の確認、改善を実施している。			3														
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	人権啓発推進委員を選任し講習会へ参加、その内容を社内に共有している。 雇用延長制度がある。 くるみんマーク取得済み。 職場いきいきアドバンスカンパニー認証企業。 【予定】外国人の採用と、受け入れの環境整備を検討していく。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	一人ひとりの能力開発目標を定め、自らの能力開発の推進を促すとともに、研修予算を設け積極的に教育訓練を実施している。 派遣契約社員に対しても、イーラーニングなどを導入し研修機会を提供している。				4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	賃金規定に、能力と職能並びに職務に応じて支給することを定め、独自の考課評価表による評価を用いて平等な賃金体系としている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	週に1日のノー残業デーの設置や有給休暇取得を促すことで社員のワークライフバランスの実現やメンタルヘルスケアを行い社員の生産性の向上に取り組んでいる。			3					8									
11		□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	グリーン化推進委員会を設置し、委員会指導の下ごみの分別を行っている。事業上有害廃棄物は発生しない。											11.6	12.4		14.1			

（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
12	環境	□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	グリーン化推進委員会を設置し、電力使用量等を把握している。							7.3						13				
13	環境	□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	グリーン化推進委員会を設置し、電力消費量削減対策として夏期のクールビズ／冬期のウォームビズを実施して いる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	環境	□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	有害物質を取り扱っていない。事業活動において、有害物質を使用しない部品を用いた設計に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	環境	□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	設計時に環境に配慮した部材選定を行うことで生物多様性保全に配慮している。						6.6									15		
16	環境	□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	グリーン化推進委員会を設置し、委員会の活動の中で、リデュース（紙の不使用、省資源設計商品の利用、照明器具のLED化、クールビズ･ウォームビズ対応、省電力を意識した設計）、リユース（マイカップ･マイ箸の使用、梱包材の再利用、容器の再利用、お弁当容器の再利用）、リサイクル（裏紙の再利用、廃棄用紙の分別廃棄･業者回収、機密書類の融解処理･業者回収）を進めている。												12.5		14.1			
17	環境	□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	上下水道使用状況を調査し、必要に応じて社員に展開している。						6.4 6.6											
18	環境	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】自社業務に効果的な環境マネジメント規格を調査し規格の取得を検討する。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	環境	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	環境グリーン化推進方針を策定し会社ホームページで公開している。												12.6					
20	環境	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】再生可能エネルギーの利用を検討していく。							7.2						13				
21	環境	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	グリーン購入を推進し、品質や価格だけでなく環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則の服務基準で汚職･贈収賄禁止を定め、周知している。																16 16.5	
23	公正な事業慣行	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】不正競争防止に向けた方針の策定、社員への周知を行なう。																16	
24	公正な事業慣行	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	全てのお客様各社と基本契約･機密保持契約を締結し、その中で、必ず知的財産権保護を謳い、保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9								
25	公正な事業慣行	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報適正管理規程を規定し、適切に取り扱っている。 マイナンバーについても、マイナンバー管理室を設置し規定を定め取り扱っている。 セキュリティ対策自己宣言を行っている。																16	

（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
26		□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	鉱物の取り扱いを行っていない。																16	
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	製造物品の購入では、RoHS対応、鉛フリー対応部材の仕入れを積極的に行っている。 【予定】人権侵害の防止、倫理面での適切な対応については、取り組みをまとめた宣言を策定し、今後計画的に取り組んでいく。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	開発専門会社として、独自の開発プロセスを定め、高品質･安全な成果を出すように取り組んでいる。 地域未来牽引企業に認定されている。			3.9									12.4					
29		□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	品質改善推進委員会の設置。社内プロセスセミナー実施／コーディング規約作成／ドキュメント標準化などの活動を行なっている。									9								
30		□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	グリーン化推進委員会を設置し、環境影響を考慮した開発部材などの購入を推進している。						6						12	13	14	15		
31		□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	公共向けの受託開発、サービスに取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	商工会議所、長野県情報サービス振興協会、長野高専技術振興会、長野県工科短期大学校教育研究振興会、信州オープンビジネスアライアンス等各種団体に参加し、地域の発展に貢献している。 電器産業が発達している当地域で必要とされている事業(電子回路設計等)を行っている。 地域未来牽引企業に認定されている。				4					9		11	12		14	15		17
33		□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	災害時などに募金活動を実施している。 地域行事に協賛している。				4							11			14	15		17
34		□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	【予定】地域資源の利用を検討する。								8	9		11	12	13				
35		□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	作業場の各フロアに経営理念、経営目標を掲げ共有している。								8	9								17
36		□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	基本理念、基本規律、基本信条を定め、法令順守はもとより、人間として本来守るべき道徳の重要性を謳い、その心は社内に浸透している。 法令順守のため表彰等審議会･5S審議会･防災委員会･安全衛生委員会等各種委員会を設置している。																16	
37		□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	グリーン化推進委員会を設置し、環境に配慮した活動を実践している。 【予定】品質改善推進委員会と協力し、社会に及ぼす影響に対応する部署の設置を目指す。																16	

（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
38	組織体制	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	情報収集を行い顧客のニーズに合った開発、成果に対するフィードバックを受け開発体制の改善を行っている。																16	17
39		□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	経営面では、BCPマニュアルを策定しリスクマネジメントに努めている。 営業の面では営業会議中にリスクを特定し、リスクを孕んだ工事が有る場合にはプロジェクト対策会議を続けて開催、マネジメントしている。																16	
40		□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	基本理念、基本規律、基本信条を定め、CSR順守の指針を示している。 CSRの基本的な取組みとして、お客様にご満足いただける成果、適度な利益による納税、環境負荷低減の取組み、雇用確保、働きやすい環境整備などを行っている。																16	
41		□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	BCPマニュアルを策定するとともに、防災委員会を設置し、防災管理マニュアルの策定･保守を実施。									9		11		13 13.1			16	
42		□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	親族内、親族外などの継承方法の他、いろいろな方法を検討し、それぞれ選択した場合のメリット、デメリットを調査している。 具体的な方針およびその対策を専門機関の専門部署に相談している。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）